プロッタ出力範囲設定

(B4 用紙サイズ)

🥂 インテリジェントドローイング	
ファイル(E) ヘルフ ^ペ (H)	
新規作成(N)	Ctrl+N
スケッチ部品新規作成(<u>K</u>)	Ctrl+K
開<()	Ctrl+O
システムローカル設定(S)	
ユーザーテンフプレート選択(I)	
インテリジェントトローインケの終了 🗵	
<u>1</u> D:¥Solid Builder初期設定¥¥Cドライブから¥サンプル地図.FXD	
<u>2</u> C:¥Cadsuper¥FDAT¥レイヤー確認,FXD	
<u>3</u> A.¥シリンダー.FXD	
<u>4</u> D:¥Solid Builder初期設定¥¥新しいフォルダ¥デモ(外部参照②).FX	D
- <u>5</u> D:¥Solid Builder初期設定¥¥新しいフォルダ¥デモ(外部参照①).FX	D

システムローカル設定		×
全般 ファイル 定数 プロジ	/夕 表示/出力	
プロッタ機種名 Design Jet (HP-GL/2) LP-8000 (EP-GL)	出力先 ANDOR PLOTTER ANDOR PLOTTER	追加(<u>A</u>) 変更(<u>M</u>)
	语 淮己, 石山力生	<u>肖明除(R)</u>
LP-8000 (EP-GL)	ANDOR PLOTTER	
	OK キャンセル EF	唰② ヘルプ

デザインジェットの場合は、ここで変更ボタンを押してみます。

プロッタ		×
−機種 メーカー名(M):	機種名(<u>A</u>):	ОК
HP	Design Jet (HP-GL/2) 7550 Plus (HP-GL)	\$7)bli
	7550 Plus (HP-GL/2) 7596C (HP-GL) 7596C (HP-GL/2)	∿₽フ°(<u>H</u>)
		設定(型)
		詳細(<u>I</u>)
		オ้7°୬ัล⊅(<u>0</u>)
出力先		
出力先(P): AND	OR PLOTTER	
バス設定(8):	参照(12)	
- ベクトル文字の出力 ○ 標準(N) ○ 高品	に使用するフォント 品質(<u>G</u>) C 漢字ROM(<u>K</u>)	

プロッタの設定ボタンを押して、用紙サイズと出力範囲を確認します。

デザインジェットの場合は、用紙の上下に 17mm、左右に 5mm のマージンが ある事が確認できます。(A3 の図面領域長が 420×297)

 出力範囲(A) 用紙がな、A0 A1 A2 A3 A4横 A4縦 出力範囲 X 155 807 560 386 263 200 Y 831 584 410 287 200 263 へゆフ°(円) ビッチ © 四面のペンで設定されている間隔で出力(E) 「 ^?)開始ビッチ補正(B) ○ 下記のビッチで出力(P) (図面のへ?)に割り付けられている線種を使用) 磁線(D) 線ビッチ: 5.00 mm 点線(T) 線ビッチ: 5.00 mm 点線(D) 線ビッチ: 10.00 mm 二点鎖線(N) 線ビッチ: 10.00 mm 	ロッタ設定				
用紙サイス* A0 A1 A2 A3 A4機 A4縦 出力範囲 X 155 807 560 386 263 200 Y 831 584 410 287 200 263 、 、 VP7°(円) ビッチ © 図面のベンで設定されている間隔で出力(E) 「 ヽ°)開始t°ッチ補正(E) ● 下記のビッチで出力(P) (図面のへ°)に割り付けられている線種を使用) 成線(E) 線ビッチ: 5.00 mm 点線(T) 線ビッチ: 2.50 mm 点線(L) 線ビッチ: 10.00 mm 第ビッチ: 10.00 mm	┌出力範囲(<u>A</u>)	I	\frown		ОК
 出力範囲 X 1155 807 560 386 263 200 Y 831 584 410 287 200 263 へゆフ°(円) ビッチ ○ 図面のベンで設定されている間隔で出力(E) 「ヘ°)開始と°ッチ補正(E) ○ 下記のビッチで出力(E) (図面のヘ°)に割り付けられている線種を使用) 磁線(B) 点線(T) 線ビッチ: 2.50 mm 一点鎖線(1) 点ピッチ: 2.50 mm 二点鎖線(M) 線ビッチ: 10.00 mm 	用紙切な	A0 A1	A2 A3	A4横 A4縦	
 Y 881 584 410 287 200 263 ヘルフ°(円) ビッチ ③ 図面のベンで設定されている間隔で出力(E) 「へ?)開始t°ッチ補正(B) ○ 下記のビッチで出力(P) (図面のへ?)に割り付けられている線種を使用) ○ 岐線(B) ○ 点線(T) 線ビッチ: 5.00 mm □ 点線(C) 線ビッチ: 10.00 mm 二点額線(N) 線ビッチ: 10.00 mm 	出力範囲)	X 1155 807	560 386	263 200	\$7)UU
ビッチ ③ 図面のベンで設定されている間隔で出力(E) 「 ヽ°)開始t°ッチ補正(B) ③ 下記のビッチで出力(P) (図面のヽ°)に割り付けられている線種を使用) 磁線(B) 線ビッチ: 5.00 mm 点線(T) 線ビッチ: 5.00 mm 二点額線(N) 線ビッチ: 10.00 mm	1	Y 831 584	410 287	200 263	∿⊮ን°(<u>H</u>)
 図面のペンで設定されている間隔で出力(E) い?開始t°ッチ補正(B) 下記のビッチで出力(P) (図面のへ?)に割り付けられている線種を使用) 磁線(E) 	-ビッチ				
ヘン開始ビッチ補止(k) 〇 下記のビッチで出力(P) (図面のヘ°)に割り付けられている線種を使用) 磁線(B) 線ビッチ: 5.00 mm 点線(I) 小点鎖線(I) 線ビッチ: 10.00 mm 線ビッチ: 10.00 mm	 ○ 図面のべ 	ことで設定されてい	いる間隔で出力(<u>F</u>	Ð	
 下記のビッヂで出力(P) (図面のヘ°ンに割り付けられている線種を使用) 破線(P) 	ע°^ ⊡	開始t ^o ッ카補正(<u>R</u>)			
(区面の、人と割り内ののちれ(いる称植を使用) (点線(<u>I</u>)) 線ビッチ: 5.00 mm 一点鎖線(<u>I</u>) 線ビッチ: 10.00 mm 線ビッチ: 10.00 mm	○ 下記のと	『ッチで出力(<u>P</u>) ∝∾varenDA frete×*	わっていて泊番本は	int)	
線ビッチ: 5.00 mm 線ビッチ: 2.50 mm 一点鎖線(I) 二点鎖線(山) 線ビッチ: 10.00 mm	(回風の)	くがにもいわれたの。	でしいる稼煙をは - 一占線(T)——	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
一点鎖線(1) 二点鎖線(1) 線ビッチ: 10.00 mm	線ビッチ	5 00 mm	線ビッチ:	2 50 mm	
一点鎖線(I) 二点鎖線(N) 線ビッチ: 10.00 mm		0.00		2100	
一点鎖線(<u>1</u>) 線ビッチ: <u>10.00</u> mm 線ビッチ: <u>10.00</u> mm					
線ビッチ: 10.00 mm 線ビッチ: 10.00 mm	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	<u>[]</u>	- □ □ 二点鎖線(N)		
	線ビッチ	: 10.00 mm	線ビッチ:	10.00 mm	

ここで FX の図面テンプレート(B4 及び B5)を作ります。

新規図面を開き、新規タブから用紙サイズは任意を選択し、領域長を X=364mm、Y=257mmを入力します。これでOKを押します。

新規作成 図面テンプレート	新規			×
	用紙サイズ(P): 縮尺:		任意 OK I (N) / 「1 (D) キャンセル	
	領域長	X: X:	364.00 257.00	
	文字縮尺:		1 ψ / 1 œ	
			説明 標準のテンプレートをもとに新規図面を作成します。	

新規図面が開かれましたら、矩形で図面枠を作成します。座標入力モードで絶対原点より矩形を出力範囲より 2mm ずつ内側に描きます。

	_ <u>_</u> B_×
ファイル(E) 図編集(E) 表示(U) 11回(D) 編集(O) 寸法(D) 文字(G) 部品(P) スクッチ(D) 計測(M) アクアレート(D) ワイルドグ(M) 4ルア(E)	
🖻 🎽 🥖 🗒 🕺 🖉 🖉 🔜 🖻 🐨 🖉 📃 – – – – – – – – – – – – – – – – – –	
	• • •
🥂 新 規 図 面 1	
	OL07
	S 11 S 11
	Heltal Hales
	<u> 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一</u>
应 煙 λ 力	
基準位置 〇 現在点 〇 相対原点 ④ 絶対原点	DRDD
XY	122 [22] (23] (24]
対角点1/矩形角度を指定してください <要素/位置/数値>	125 27 0



ファイル場所を図面テンプレート、ファイル種別を図面テンプレートとし、ファイル名を B4(FX)と入力し、保存しますので OK を押します。

必要に応じて図面名称、作成者などを入力します。

同様にして B5 用紙サイズを作り図面テンプレートを登録します。